郡山の「ジンコーポレーション」

全国の施設巡り 善意のラーメン

郡山市を拠点に県内外でラーメン店や美容サロンを手掛けるジンコーポレーションは全国の福祉施設などを回り、無料でラーメンを提供する活動を七日にスタートさせる。横浜市のボランティア「メロンの会」と連携し、同社所有のトラックを使った移動店舗「博多人情号」を使い、一年間で全国約五百七十カ所の訪問を目指す。

全国の福祉施設を巡回する「博多人情号」

1年間で570カ所 あすスタート

高橋仁社長(三九)は「平成十四年にラーメン店から始め、周囲に支えられて事業を伸展できた。何とか恩返しがしたい」と常々考えていた。

高橋社長は今春、養護施設にドーナツを贈る活動をしている天野雅博さん(四〇)と知り合い、話が進んだ。高橋社長は「博多人情号」の活用を申し出た。天野さんはボランティア仲間に声を掛けメロンの会を立ち上げ、施設との日程調整を始めた。

活動には、同社のラーメン店とエステティックサロンの社員、メロンの会スタッフが参加する。ラーメンは代わり自由で何杯でも味わってもらう。博多人情号は出発前日の六日までにお色直しを終える予定。

出発式を七日に東京都のヒルトン東京で行い、埼玉県の養護施設をトップに全国を回る。本県の施設は七月下旬から八月上旬となる見通しで、八カ所を予定している。順次連絡を取って訪問の意向を伝えていく。

高橋社長は「多くの子どもたちにラーメンを食べてもらうことで、お世話になった地域への感謝の気持ちを伝えたい」と張り切っている。

同社は平成十四年八月に設立。「麺家くさび」などラーメン店を東北地方に十二店舗、エステ店「ミュゼ・プラチナム」を北海道から沖縄まで五十八店舗経営している。

高橋仁社長